



『環境のまち しかおい』

地域課題解決と脱炭素の同時解決を目指して



鹿追町 企画課 林大介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



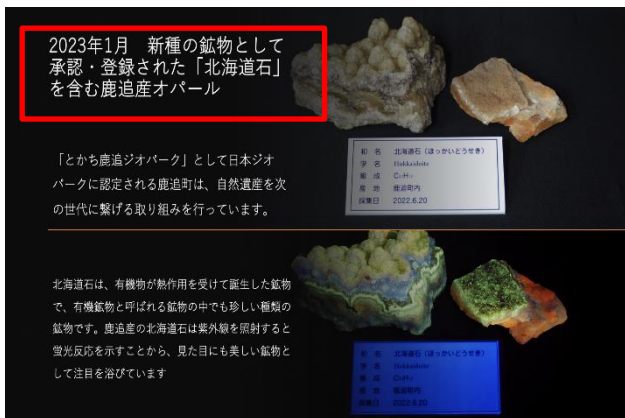
とかち鹿追ジオパーク



自己紹介

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	林 大介	所属	鹿追町役場 企画課	
専門領域	・行動変容 ・自営線マイクログリッド（太陽光、地中熱、EMS） ・脱炭素先行地域等に係る事務 ・新電力の検討	居住地域／活動地域	北海道鹿追町/国内	
		派遣形式	単発型	
略歴	2017年-2018年 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 国民生活対策室 派遣（クールビズ、ウォームビズ等担当） 2019年-2020年 企画課 行財政改革推進係長（総合計画・総合戦略の策定及び自営線マイクログリッド事業等担当） 2021年-現在 企画課 企画係ICT・エネルギー担当係長（行動変容、脱炭素先行地域、重点対策加速化事業、住まいのZC化推進事業、計画策定等担当） 九州大学非常勤講師(R5)			
過去の地方公共団体との関わり	【近年担当した環境省補助事業一覧】 ・地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業（自営線マイクログリッド） ・脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業（脱炭素公共交通施策FS） ・再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能なレジリエントな地域社会実現支援事業（計画策定） ・地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（地域脱炭素先行地域づくり（第1回）・重点対策加速化事業）			
一言	私自身、本当にたまたま脱炭素施策に携わってきた普通の自治体職員ですので、専門的・技術的な深い知見はありませんが、これまでの経験の「反省と改善策」そして、一見華々しい事業でも必ずある「課題」など、そういったことを包み隠さず共有させて頂きながら、共に脱炭素で課題解決策を考えられるような機会にさせて頂ければと思っています。どうぞお気軽にご連絡下さい。			
参考URL	■鹿追町ホームページ（脱炭素施策関係） https://www.town.shikaoi.lg.jp/kurashi/life/ ■SuSPCA持続コン協会報22.10 No.90（69p 脱炭素先行地域事業内容執筆） http://www.suspcas.or.jp/pdf/kaihou_no090.pdf			



鹿追町の紹介



- ・ 地 形

大雪山東山麓 標高200～300m
 東西17.7km 南北39.8km
 十勝管内の純農村地帯
- ・ 気 候

年平均気温6.1℃（夏17℃、冬-12℃）
 降水量932mm
- ・ 人 口

約5,062人（令和5年12月末時点）
- ・ 産 業

1次産業人口 35%
 2次産業人口 8%
 3次産業人口 57%
 極端に2次産業が少ない構成（令和4年実績）
- ・ 農 業

農業産出額 約238億円
 畑作24% 酪農・畜産76%
 乳牛21,000頭
 肉牛10,000頭（乳雄及びF1）
- ・ 主要作物

牛乳、牛肉、ビート、馬鈴薯、豆類、小麦、飼料作物、キャベツ、アスパラガス、そば
- ・ その他産業

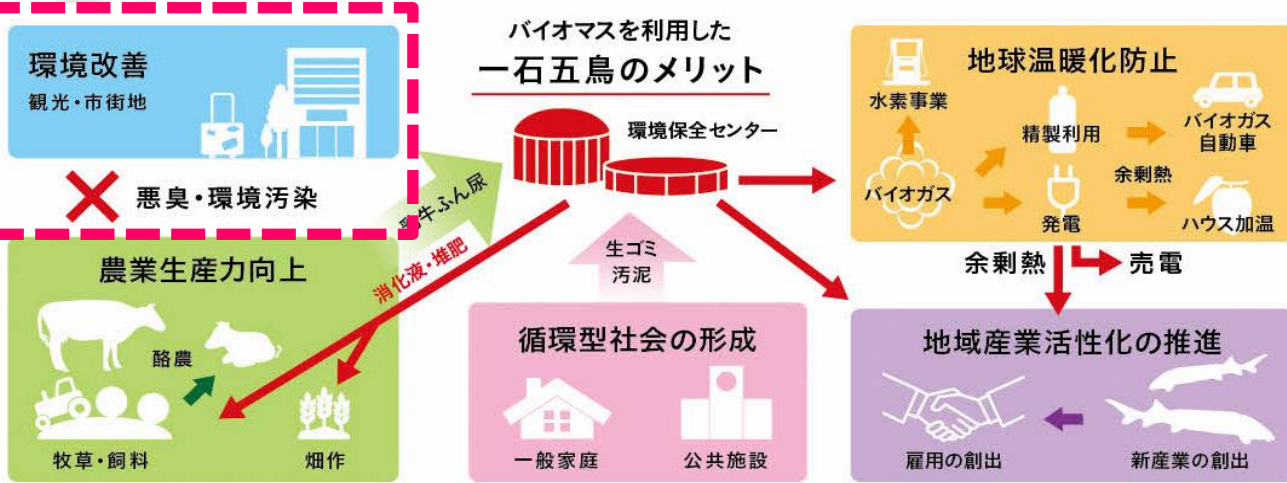
日本ジオパーク（町内全域）
 然別湖を核とした観光産業
 ファームイン等
 観光客入込数 約78万人
 自衛隊駐屯地（陸上自衛隊第5旅団）

鹿追町は、令和3年3月12日に開催された鹿追町議会定例会において、十勝で初めて、「バイオガスプラントを核とした鹿追型ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言

令和3年3月12日 第1回鹿追町議会定例会



鹿追町はバイオマス※¹で町と人・環境にやさしい 地域循環型のまちづくりをめざしています



めぐる農業
生まれるエコエネルギー

バイオガス プラントの活用

めぐる農業とは？
 バイオマスを有効活用した安全な農産物の生産と環境負荷の少ない循環型農業のこと。

バイオマス資源の活用先



バイオガスの精製圧縮



2 瓜幕バイオガスプラント

鹿追町環境保全センターの後にできた瓜幕バイオガスプラントは原料となる家畜排せつ物等の処理能力を大幅にアップし、未来へ向けたさらなるエコエネルギーづくりに邁進しています。

鹿追町環境保全センター



“国内初”家畜ふん尿を活用した水素事業

2015年から環境省実証事業が本町で開始され、FCEVやFCフォークリフトの運用等の水素供給により、**水素を安定して「つくる・はこぶ・つかう」ことを証明**。実証の成功を踏まえ、**2022年より町と民間企業※₁が連携し水素サプライ事業を商用化**

※₁ 株式会社しかおい水素ファーム（出資者：エア・ウォーター北海道株式会社及び鹿島建設株式会社）

現時点、町内で【22台】導入
（鹿追町10台・民間事業者9台・個人3台）

水素燃料電池車のみ
「中古車」を対象とした町
独自補助(2022年10月～)

家畜ふん尿由来水素を活用した「クルマ社会」での面的な脱炭素化

道内唯一の定置式水素ステーション

■受賞実績

- ・自治体水素アワード
- ・第13回EST交通環境大賞 大賞

鹿追町脱炭素自動車
導入普及促進補助金

補助金を利用して
環境にやさしい車に乗り換えよう！

FCV

水素燃料電池自動車

- 新 車：最大 **100** 万円
* CEV 補助金の 1/2 以内
- 中古車：最大 **50** 万円
* 車両本体価格（税別）の 20% 以内



EV

電気自動車

- 新 車：最大 **100** 万円
* CEV 補助金の 1/2 以内
- 中古車：対象外



PHV

プラグイン
ハイブリッド自動車

- 新 車：最大 **100** 万円
* CEV 補助金の 1/2 以内
- 中古車：対象外



詳細は裏面をご覧ください

しかおい自営線ネットワーク（自営線マイクログリッド）

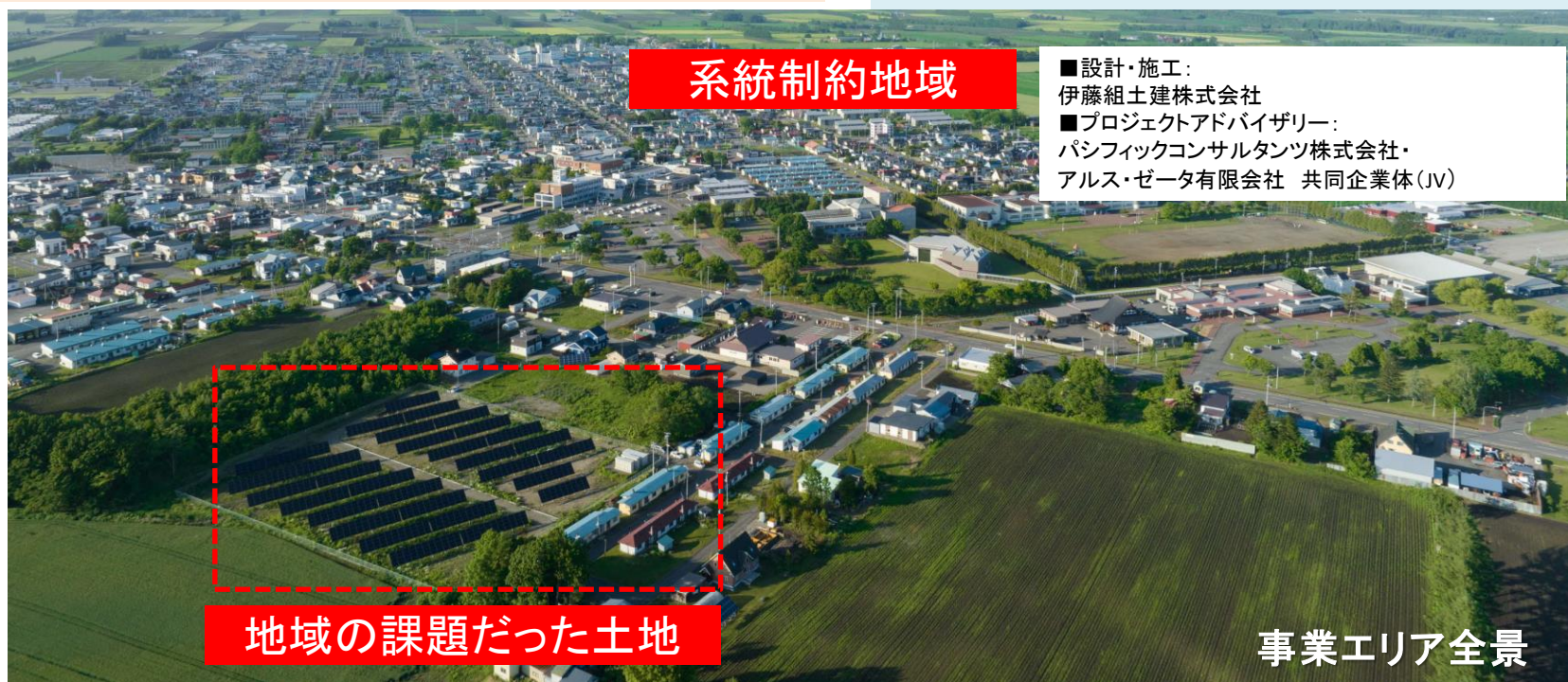
再エネの最大導入、最大活用を目的とした熱と電気のネットワーク

背景

- 「環境のまちしかおい」として、エネルギーの地産地消による地球温暖化対策を進めたい。
- 避難所指定されている公共施設に災害時でも電気を供給し、業務が継続できるようにしたい。
- FIT売電期間の終了するバイオガスプラントのエネルギーの受け皿を構築したい。
- 長年活用が出来なかった、遊休地(旧墓地)の有効活用を図りたい。

目的

町上位計画に基づくCO2排出量削減と行政運営に係るBCP機能向上を目的に、公共施設群が集中するエリアを対象として、電気・熱に係る自立・分散型エネルギーシステムを導入すると共に、一括受電により関係させ、再エネの最大活用を推進する。



系統制約地域

■設計・施工：
伊藤組土建株式会社
■プロジェクトアドバイザー：
パシフィックコンサルタンツ株式会社・
アルス・ゼータ有限会社 共同企業体 (JV)

地域の課題だった土地

事業エリア全景

- ✓ 太陽光発電設備（440kW）の設置による町内の未利用遊休地の有効活用
- ✓ 独自の配電線（自営線）の設置による公共施設群（9施設）の電力供給ネットワークを構築

個別施設では難しい中規模太陽光発電の需要を創出（再エネ導入の最大化）し、
系統制約のある地域における再生可能エネルギーの導入の道筋をつけられた

事業の内容

自営線ネットワーク

防災対応システム

全施設で太陽光発電の電気を Uses しします



町民ホール

停電時は、発電（蓄電）した電気を避難所（町民ホール+トリムセンター）に供給します。

トリムセンター

停電時はエネルギー棟で蓄熱している熱をトリムセンターの公衆浴場に供給します。

北電系統
熱導管
自営線（平常時）
自営線（BCP対応）

CEMS 自営線ネットワーク全体の電気や熱の量を管理・制御

エネルギー棟



トリムセンターと健康温水プールに地中熱で作った熱を常時供給します。

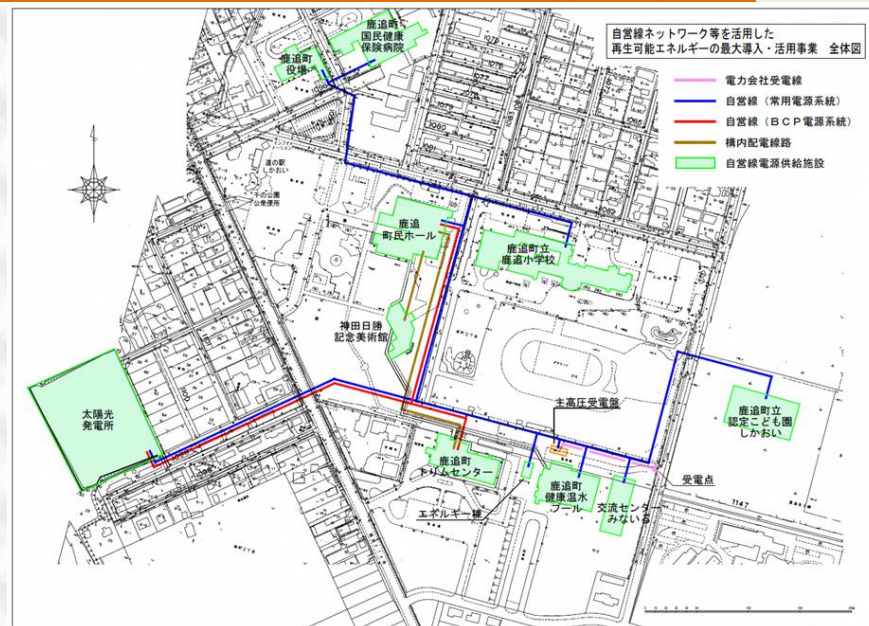
PV

健康温水プール

交流センターみないる

認定こども園

電気・熱活用システム



受賞実績

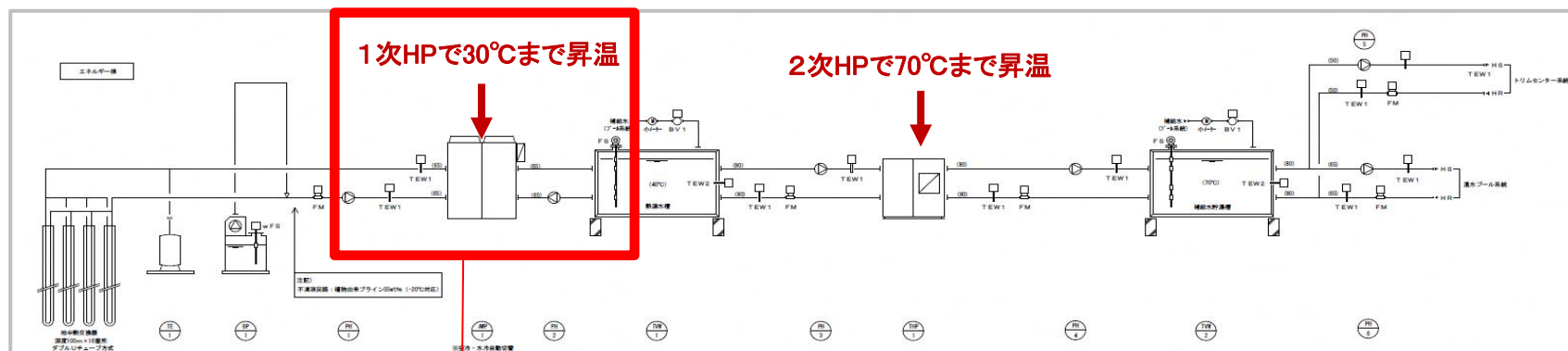
令和5年度 2023年度ソーラーウィーク大賞 特別賞
 〃 第13回EST交通環境大賞 環境大臣賞
 令和4年度 新エネ大賞 財団会長賞
 令和3年度 北国の省エネ・新エネ大賞 大賞

中低温熱源ネットワーク構築による熱ロス低減とCOPの向上によるコスト低減

- ✓ 高効率地中熱HPを効率よく活用させる為、二段階昇温方式を採用
- ✓ 1次・2次HPは直列に配置し、1次HPには空水冷ヒートポンプを採用し、地中温度と外気温度を観測し、システム効率が高くなる熱源を採用



一般的なHPのCOP2.1に比べて
高効率化（平均COP3.7）を可能とした



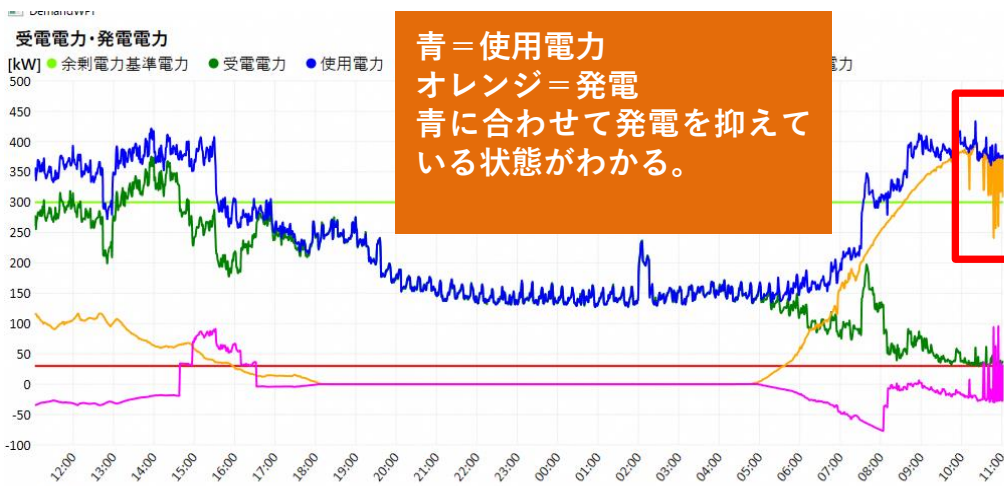
太陽光発電の余剰電力をHP稼働に利用し蓄熱することで再エネの利用最大化

- ✓ 太陽光発電の余剰電力は蓄電池に蓄えられるが、更に余剰が発生する場合には熱源水槽の**設定温度を30℃から40℃に変更することで1次HPを強制稼働させる**仕組みを構築

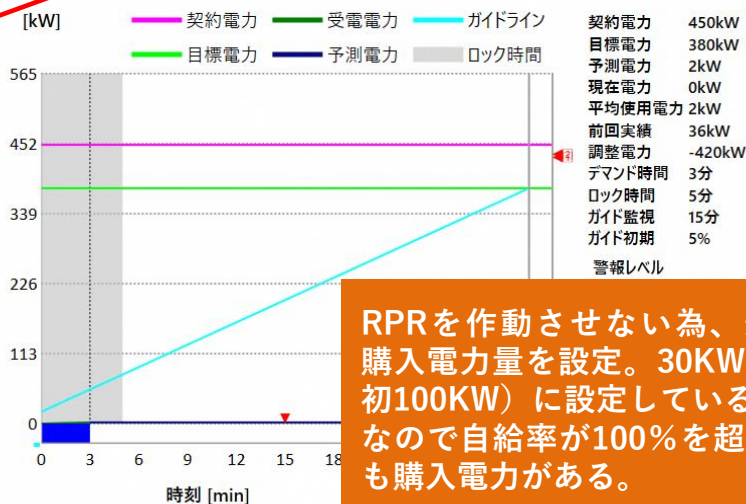


太陽光発電の発電機会の最大化に寄与できた

一方で、
それでも余剰電力が発生しています。
(CEMS画面)



電力デマンド



RPRを作動させない為、最低購入電力量を設定。30KW（当初100KW）に設定している。
なので自給率が100%を超えても購入電力がある。

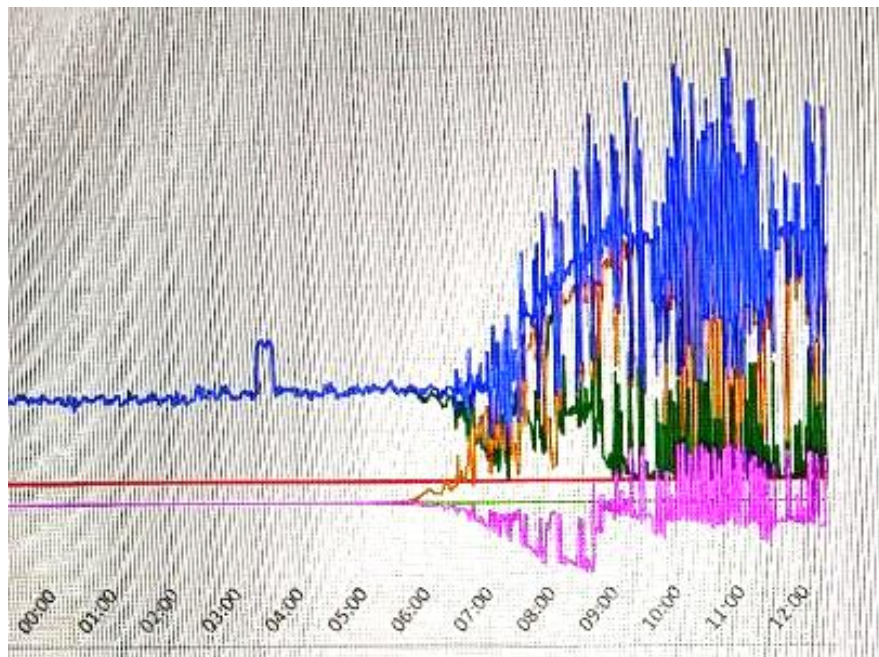


	蓄電池1	蓄電池2	使用電力量	発電電力量	購入電力量
充電電力	13.1kW	13.2kW	ただ今 373.8kW	375.0kW	33.4kW
放電電力	0.0kW	0.0kW	本日 2473.9kWh	1360.1kWh	1261.0kWh
電池残量	133.8kWh (100%)	133.8kWh (100%)			

	地中熱HP
地中熱運転	地中熱運転
空気熱運転	空気熱運転
高良熱運転	運転
熱源水温度	25.5°C
貯湯槽温度	67.0°C
熱源水熱量	870MJ
蓄温水熱量	1776MJ

自給率
100.3%

鹿追町役場	18.6kW
町民ホール	80.0kW
トリムセンター	31.1kW
国民健康保険病院	59.0kW
鹿追小学校	36.3kW
健康温水プール	70.8kW
認定こども園	38.6kW
交流センター	0.2kW



すごく太陽光を抑制してしまっている状態
【夏季の晴れの日】

抑制基準電力 ● 太陽光発電電力 ● 蓄電池充放電電力



ほとんど太陽光を抑制していない状態
【真冬:町民ホール使用時】

一括受電+CEMS制御+蓄電池による効果的なピークカット機能とその効果

- ✓ 集積されている**公共施設群（9施設7契約）**を自営線により1需要として受電契約を**一本化**
- ✓ CEMSによる蓄電池及びヒートポンプの稼働制御による**ピークカット機能**を構築
- ✓ 各施設で受電していた**当初の契約電力の合計値は759kW**であったが、**事業開始時には640kW（協議契約）、令和3年度には450kW（デマンド契約）**を下回り、更なる低減の可能性が期待され、それに伴った基本料金の削減も期待される。



施設名	事業開始前の 契約電力	事業開始時（R2年度末） の契約電力	R3年度中の 契約電力見直し後
鹿追町役場	33 kW	 640 kW (▼119 kW)	 450 kW (▼309 kW)
鹿追町国民健康保険病院	117 kW		
鹿追町民ホール＋神田日勝記念美術館 ＋鹿追町トリムセンター	220 kW		
鹿追小学校	40 kW		
鹿追町健康温水プール	89 kW		
交流センターみないる	20 kW		
認定こども園	100 kW		
エネルギー棟	140 kW		
合計	759 kW	 1,870円 × 309KW × 12ヵ月 = ▲6,933,960円	

本事業の採算性

- ✓ 事業としての成立性（採算面）は、総事業費763,519千円に対し、環境省補助金（2/3）及び過疎債（借入額の70%が交付税措置）を除いた持ち出し額113,508千円に対して、年間のランニングコスト削減総額10,486千円により、約10.8年で投資回収できる見込み。

【収 入】

項 目	想定ランニング費（円／年）
太陽光発電による購入電力削減効果※1	14,723,885
一括受電による電力購入基本料金削減効果※2	6,933,960
A重油購入削減効果※3	4,693,593
合 計	26,351,438

【収 出】

維持管理費用※4	6,767,514
電気ヒートポンプの電力消費分※5	6,997,879
電気主任技術者の選任分（追加費用）※6	2,099,898
合 計	15,865,291

【収 入】－【支 出】＝10,486,147円

※1 電力購入削減効果：発電による電力購入削減効果＝令和4年度発電量539,007kWh×令和4年度実績単価

※2 一括受電による電力購入基本料金削減効果＝事業開始前契約電力759kW－契約容量450kW×基本料金単価1,870円/kW×12か月

※3 A重油購入削減効果：令和4年度削減実績 47,600L ×令和4年度実績単価

※4 維持管理費用：施工会社提案資料（概算維持管理費見積書）＋一部実績値より14年分の費用を1年分に按分（法定点検、保守、耐用年数に基づく交換・更新費用など）

※5 電気ヒートポンプの電力消費分：令和4年度消費量256,176kWh×令和4年度実績単価

※6 電気主任技術者の選任分（追加費用）：電気主任技術者雇用人件費3,855,294円-事業開始前外部委託費1,755,396円

① CO₂排出量の削減 環境性

今回の再エネ設備の導入で
CO₂排出量を363トン※削減できます。



※年間の削減効果推定値(※参考(戸建住宅)の約120軒分の削減効果)

② 災害対応能力の向上 防災性

災害で停電した場合でも
電気を利用できる施設が増えました。

従来



鹿追町役場※



国民健康保険病院※

+

本事業



町民ホール



トリムセンター

※既設の非常用発電機で電気を供給

墓地の跡地が
【学びの場】に転換

④ 他地域展開のモデル 波及性

鹿追町での先進的な取り組みが、道内だけでなく、東北や北陸地方といった寒冷地の自治体のモデルとなります。



鹿追町自営線ネットワーク

寒冷地自治体の
モデルに

北海道

東北

北陸

特に、脱炭素先行地域を目指す
自治体からの視察が急増
(民間裨益型自営線MGが重点モデルに)

R4年度10月～新たな町民向け補助金を創設 ＜FCV中古車導入に対する補助は国内初＞

R4実績：51件実績 co2排出削減効果 10.6t（年間）

鹿追型ゼロカーボンシティ実現プロジェクト

省エネ家電買換え促進補助金

10年以上前の電気冷蔵庫から
エコな電気冷蔵庫に買い換えると
最大 **40,000 円** 補助金を交付します !!

* 補助金は条件に応じて 10,000 円からとなっております。
* 商品券 (1,000 円綴り) で交付します。

冷蔵庫は家庭で最も電力消費量が高く、
省エネ化することで、お財布にも地球にも
やさしい取組みになります。



詳細は裏面をご覧ください

R4実績：FCV2台、PHEV1台実績
co2排出削減効果 5.5t（年間）

鹿追型ゼロカーボンシティ実現プロジェクト

鹿追町脱炭素自動車 導入普及促進補助金

補助金を利用して
環境にやさしい車に乗り換えよう！

FCV

水素燃料電池自動車

新 車：最大 **100 万円**

* CEV 補助金の 1/2 以内

中古車：最大 **50 万円**

* 車両本体価格（税別）の 20% 以内



EV

電気自動車

新 車：最大 **100 万円**

* CEV 補助金の 1/2 以内

中古車：対象外



PHV

プラグイン
ハイブリッド自動車

新 車：最大 **100 万円**

* CEV 補助金の 1/2 以内

中古車：対象外



詳細は裏面をご覧ください

【令和5年4月_環境省重点対策加速化事業に選定】

「全町民・全事業者を対象とした電気と熱の最大活用による面的な脱炭素を推進」



家庭用太陽光発電
7万円/kw

事業者用太陽光発電
5万円/kw

※FIT,FIP売電不可



家庭用定置式蓄電池
1/3
【上限5万1千円/kwh】

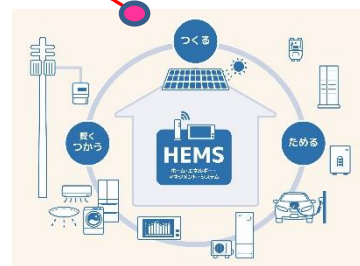
事業者用定置式蓄電池
1/3
【上限6万3千円/kwh】
【315万円】

※本補助金にて太陽光発電を導入する場合のみ、申請可能。



家庭用太陽熱システム
2/3

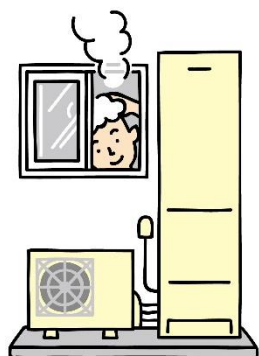
事業者は対象外



家庭用エネルギーマネジメントシステム
2/3

事業者用エネルギーマネジメントシステム
2/3

※本補助金にて太陽光発電を導入する場合のみ、申請可能。



家庭用高効率給湯器
1/2

事業者用高効率給湯器
1/2

※買換えのみ対象



既存住宅断熱改修
1/3
上限120万円

事業者は対象外

※高性能建材（ガラス・窓・断熱材・玄関ドア）

エコキュート、
エコジョーズ、
エコフィールなど

- ・令和5年7月3日から受付を開始し「64,000千円（補助金ベース）」を交付決定。【予算執行率：97%】
- ・太陽光発電を導入する場合は「蓄電池+エネマネ」をセットで導入することを条件化。【地域強靱化】
- ・予算執行率を高める為に「刷り込み広報」を実践。また、職員自らあらゆる町民会議に直接出向いて促進。
- ・町民からの「申請・実績」の審査をプロに委託し、会計検査の対策を万全に。【委託は100%補助！】

鹿追町住まいの ゼロカーボン化 推進事業補助金

11/1(水)より
申請受付開始!

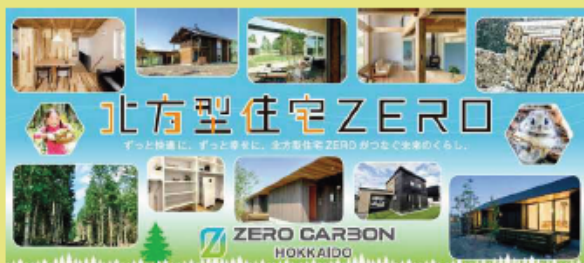
鹿追町では「鹿追型ゼロカーボンシティ」を実現するため、既存住宅の省エネ化や北方型住宅 ZERO 基準の新築に対して、新たな補助事業を創設しました。エアコンの導入など、大変使いやすい補助事業になっております。奮ってご活用ください!

町民(戸建て住宅居住者)
交付対象者 ※賃貸住宅は対象外(公共含む)
※実績報告書提出時に住民票が鹿追町にあること

1 住宅の改修などに関する補助メニュー *町内事業者での工事限定



2 新築に関する補助メニュー



詳細は裏ページ
をご覧ください

さらに!「住宅」に焦点を当てた
補助金を創設(北海道連携事業)
【令和5年11月1日から受付を開始し、
12月14日で予算満額(500万円)に】

1 住宅の改修などに関する補助メニュー *町内事業者での工事限定

..... 対象事業

高性能エアコン
暖房・空気清浄機能等付き

高効率給湯器
エコフィール(灯油)や
エコジョーズ(ガス)など

LED *工事必須

節水型トイレ

躯体の省エネ改修

建物全体の断熱改修

開口部の省エネ改修

高断熱浴槽

節湯水栓

20万円以上(税込)の事業費が対象で、
補助率は1/3以内です
*1戸あたりの上限額/50万円(年間)

補助金は商品券(1,000円綴り)で交付します

例 節水型トイレ工事が10万円、LED照明工事が
10万円だった場合、合わせて
20万円になるので申請が可能!

POINT 町への手続き(補助金の申請など)は
工事を行う下記の町内事業者が代行します

**町認定
町内事業者
一覧**
2023.10.20 時点
[随時更新]

有限会社 菊池組 ☎66-3050
窪田建設工業株式会社 ☎66-2316
有限会社 健勝重建 ☎66-3508
有限会社 佐々木工務店 ☎66-2232
有限会社 志賀設備 ☎66-3977
鹿追町農業協同組合 ☎66-2250
(有)菅原電気 ☎66-2255
(株)タカノ ☎66-2342
有限会社谷電気商会 ☎66-2116
(有)デンキショップ デンキのタニ ☎66-3477
マーキテクト株式会社 ☎66-4555
未来Create ☎66-3315
(株)もりずみ ☎66-2018

2 新築に関する補助メニュー

北方型住宅とは...北海道の気候風土にふさわしい
性能を備えた北海道が推奨する住まいのこと



北方型住宅 ZERO の認定を受ける新築戸建てに
ついて、45万円の補助金を交付します

補助金は商品券(1,000円綴り)で交付します

卒FIT者用の蓄電池導入補助金を拡充しました!

すでに住宅に太陽光発電を整備されている方はぜひご検討ください

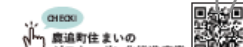
詳細はこちら



これまで
最大10万円
↓
最大20万円
に拡充!

町ホームページで詳細をご確認ください

問い合わせ 鹿追町役場 企画課 企画係[ICT・エネルギー担当]
TEL:0156-66-4032 MAIL:kikaku@town.shikaoi.lg.jp



SHIKAOI“Zero Carbon+”Project

“ライフスタイルの変容”に焦点を当てた新たなProject.

＜脱炭素 × 健康増進 × 経費削減＞

「Town Bike Project」



公用自転車16台を配備
R4_CO2排出削減実績：182kg

「歩く、こぐProject」



職員に徒歩・自転車通勤を推奨
R4_CO2排出削減実績：7,013kg

【7.2tのCO2排出削減を実現】

町民と共に学び、考え、行動する機会を創出

地域づくりセミナー

ZERO CARBON HOKKAIDO SHIKAOKI

然別湖の環境と気候変動
9月10日(日)15:00から 鹿追町民ホール

将来、然別湖が結氷しなくなる時がやってくるかも知れません。
日本・世界各地の湖で研究を重ね、然別湖で観測をはじめた
2人の研究者に話を聞き、気候変動の問題を考えます



「ジオパーク」「北海道環境財団」と連携した
ゼロカーボンセミナー
Panasonic連携事業
「親子で省エネ講座・
エネルギーの“創・蓄・省”とものづくり教室」
その他、行政区等に出前講座の実施中

全世帯に省エネハンドブックを配布 ＜北海道経済産業局様との連携＞

町民の皆さま

鹿追町長 喜井 知己

「実践！ おうちで省エネパンフレット」の配布について

年の瀬も押し迫り、何かと気ぜわしい頃となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

この度、経済産業省北海道経済産業局のご協力により、省エネを実践するための具体的な方法や節約効果をまとめた「実践！ おうちで省エネパンフレット」を町民の皆さまにお配りさせていただくこととなりました。

本町は令和3年3月に「バイオガспラントを核とした鹿追型ゼロカーボンシティ」を宣言し、同4年4月には「第1回脱炭素先行地域」に選定され、精力的に脱炭素施策を進めているところです。

「省エネ」は脱炭素につながるのはもちろんですが、原油価格・物価高騰対策にもつながる「お財布に優しい」取り組みです。パンフレットを参考に、できることから実践していただき、省エネを生活の一部に取り入れてみてはいかがでしょうか。

最後になりましたが、皆さまのさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

記

配布物：実践！ おうちで省エネパンフレット 1冊

※ごみ分別ハンドブックと同様に、更新されるまで「保存・活用」いただければ幸いです。

自動車・省エネ マナーを守った ドライブは、安心・安全・経済的

自動車	燃費 (L/100km)
● 日産 ノア	13.814 (燃費)
● 日産 ノア	2.990 (燃費)
● 日産 ノア	4.841 (燃費)
● 日産 ノア	2.864 (燃費)

● マナーを守れば省エネ運転！
運転マナーは、すべて省エネにつながります。マナーを守れば、燃費もよくなります。マナーを守れば、安全運転もできます。マナーを守れば、快適なドライブもできます。

● 燃費が高い自動車を利用しよう
燃費が高い自動車を利用すると、燃費の節約につながります。燃費が高い自動車を利用すると、燃費の節約につながります。燃費が高い自動車を利用すると、燃費の節約につながります。

2,200世帯すべてに
省エネ行動を具
体的に促進!!

【地方創生＝課題解決】 脱炭素先行地域実現Project

エネルギー供給エリアの課題	対象施設	事業内容
・バイオガスプラントFIT電力の活用 ・卒FITを見据えた新たな展開	① 3基目BGP ② 中鹿追BGP ③ 瓜幕BGP	・3基目バイオガスプラントの新設 (1,500kw) ・地域新電力会社の設立 ・バイオメタン精製・圧縮設備導入

然別湖エリアの課題	対象施設	事業内容
・休業ホテルの再建 ・新型コロナウイルスからの観光復興	① 休業ホテル ② 既存ホテル ③ ネイチャーセンター ④ 北岸野営場	・休業ホテルのZEB化再建 ・既存ホテルの省エネ改修 ・温泉熱ヒートポンプの導入 ・V2Hの導入 ・ゼロカーボンパーク化

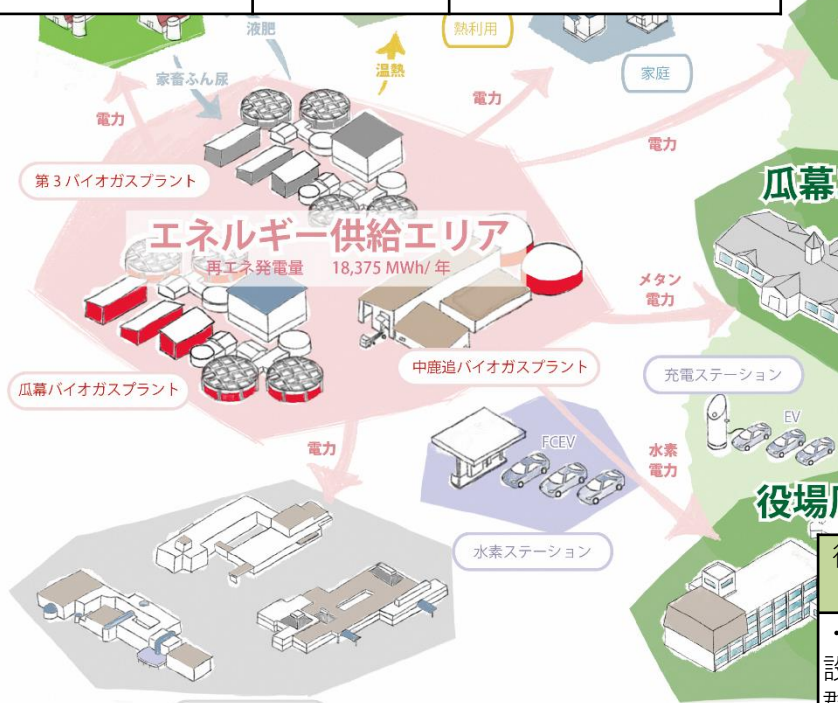
然別湖エリア



とかち鹿追ジオパーク



ZERO CARBON
HOKKAIDO
SHIKAOI



瓜幕エリアの課題	対象施設	事業内容
・自然体験留学センターの建替え（約築40年） ・ワーケーション、テレワークに対応した新施設 ・卒FIT太陽光発電の利活用（小学校にあり）	① 自然体験留学センター ② 瓜幕小学校 ③ 瓜幕保育所 ④ 夢創造館 ⑤ ウリマックホール ⑥ 道の駅うりまく ⑦ ライディングパーク ⑧ 瓜幕中学校	・NearlyZEB（新設） ・メタンコジェネの導入 ・太陽熱の導入 ・太陽光発電の導入 ・蓄電池の導入 ・自営線の導入 ・V2Hの導入（FCEVなど、脱炭素車両を活用）

瓜幕エリア

役場周辺エリア

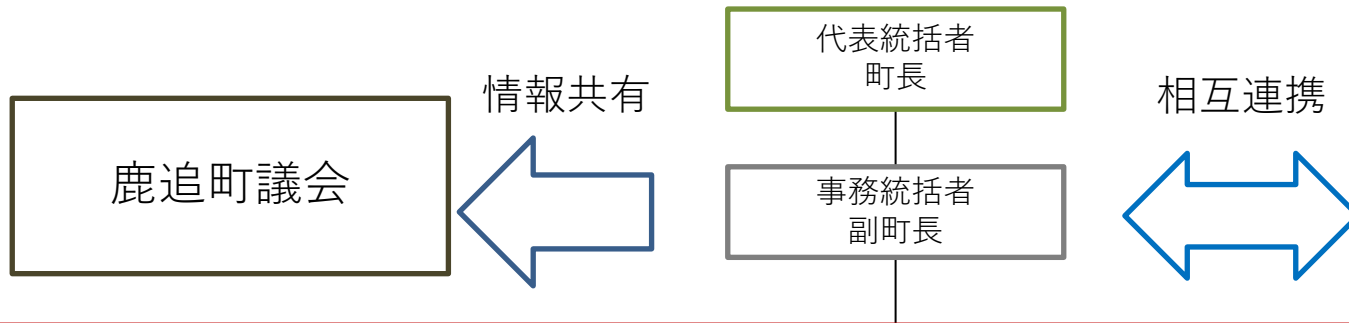
その他の公共施設群エリアの課題	対象施設	事業内容
・使用している電力に環境価値がない	全公共施設 (323施設)	設立する地域新電力会社から、本町のバイオガスプラントで発電された電力を購入

役場周辺エリアの課題	対象施設	事業内容
・平成初期に建設した公共施設群の長寿命化修繕 ・既存の太陽光発電が発電しない時間等の購入電力対策 ・道の駅の再編	① 役場 ② 町民ホール ③ 神田日勝記念美術館 ④ トムセンター ⑤ 温水プール ⑥ みないる ⑦ こども園 ⑧ 小学校 ⑨ 病院 ⑩ 新道の駅（ゼロカーボンステーション）	・NearlyZEB改修（道総研_研究事業） ・水素燃料電池の導入 ・太陽熱の導入 ・太陽光発電の導入 ・蓄電池の導入 ・EVステーション設置（役場・道の駅） ・脱炭素車両の導入（EV, PHEV, FCバス） ・CEMSの改修 ・冷暖房機器の電化（EHP）20

脱炭素先行地域PT

鹿追町ゼロカーボンシティ推進協議会

【鹿追町・JA・商工会・観光協会・一般町民・北海道拓殖バス株式会社・一般社団法人帯広青年会議所・北海道電力ネットワーク株式会社・鹿島建設株式会社・環境省北海道地方環境事務所・十勝総合振興局保健環境部・帯広信用金庫・国土交通省帯広開発建設部・北海道大学】



統括事務局
企画課長（補助事業事務関係）・建設水道課長（工事関係）・総務課財政担当課長（予算・計画関係）
（庶務：企画課企画係ICT・エネルギー担当）

ZEC化事務局
社会教育課長

新電力会社設立事務局
企画課長

第3BGP新設事務局
農業振興課環境保全センター
担当課長

ゼロカーボンパーク事務局
商工観光課長

留学センター新設事務局
瓜幕支所長

ゼロカーボン交通事務局
企画課長

- ・社会教育課（町民ホール・神田日勝・プール）
- ・保健福祉課（トリムセンター）
- ・学校教育課（小学校）
- ・商工観光課（道の駅）
- ・総務課財政担当課（計画）
- ・総務課
- ・消防署
- ・病院
- ・子育て支援課
- ・建設水道課

- ・農業振興課環境保全センター担当課
- ・総務課財政担当課

- ・農業振興課
- ・農業委員会
- ・総務課財政担当課

- ・ジオパーク推進課

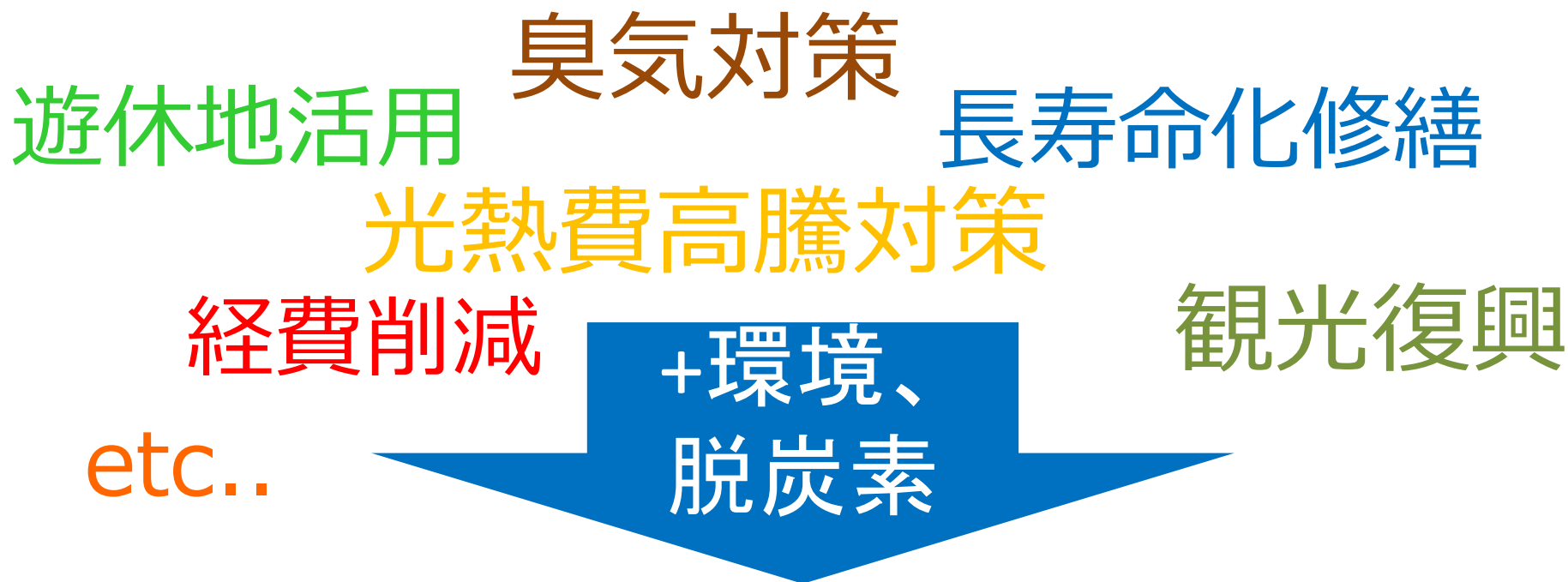
- ・学校教育課
- ・企画課
- ・子育て支援課

- ・建設水道課
- ・総務課財政担当課
- ・町民課

<全課により推進>

やはり？課間の温度差はあるものの、各プロジェクトにおいて「定例会（月1回程度）」を実施し、連携を深めている。（自営線MG方式）

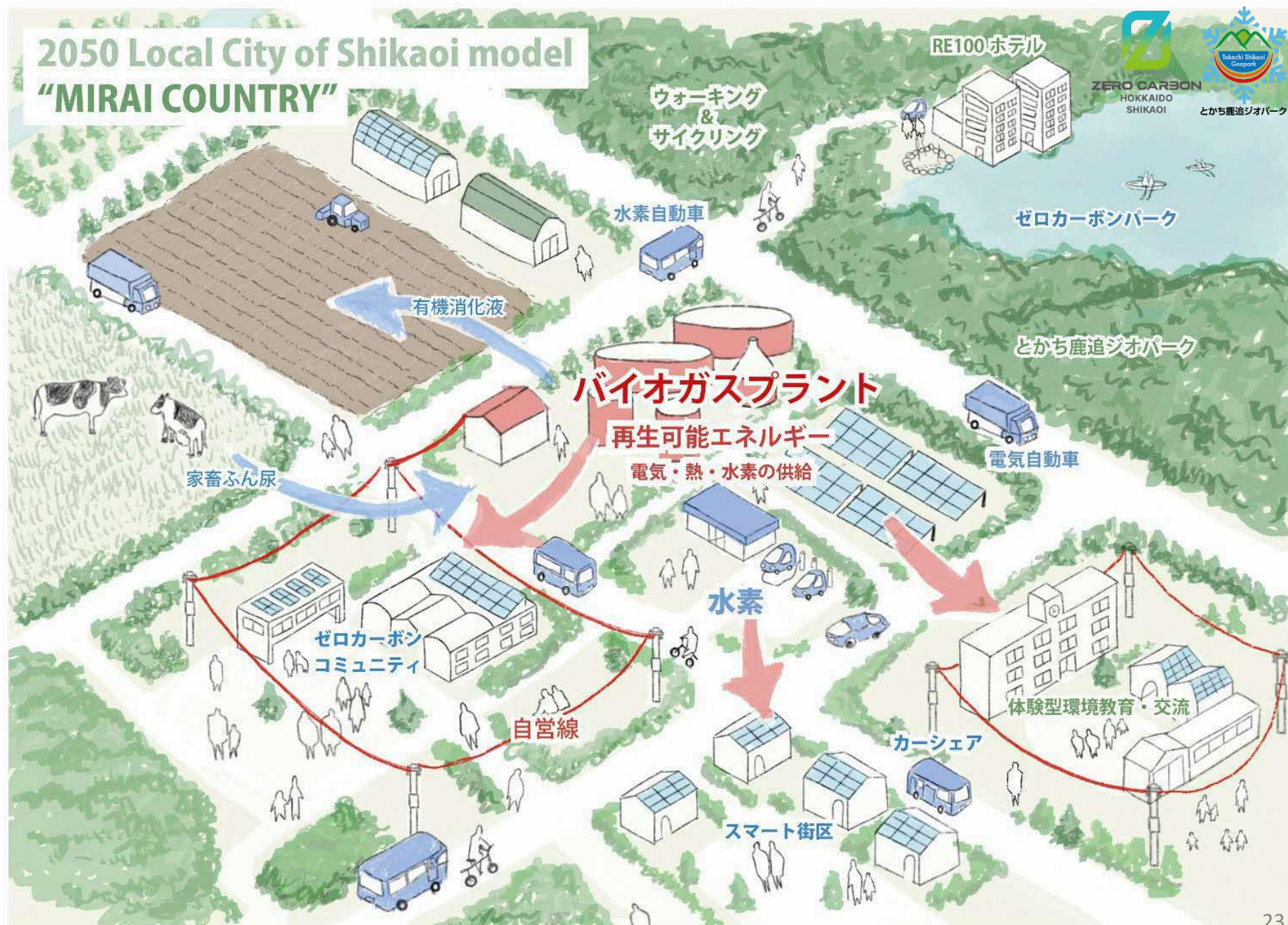
全ては、地域の課題解決の為に、
打算的に「環境施策」を活用。



目的の達成に「環境価値」が付加

以て、『地方創生』を実現

2050年までに目指す鹿追型ゼロカーボンシティの姿【MIRAI COUNTRY】



みなさん、ご清聴ありがとうございました。

・ご要望頂ければ、脱炭素先行地域や重点対策加速化事業の提案書の元データやヒアリングの議事録など共有可能です。

また、町民向け補助金の要綱や様式、処理台帳、行動変容に係わる効果想定用のエクセルデータ、予算要求書など、何でも共有できますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

鹿追町役場企画課 林

TEL : 0156-66-4032

MAIL : kikaku@town.shikaoi.lg.jp

参考:鹿追町のCo2排出削減目標（カーボンマイナスをとことん追求）

											計	森林吸収	計
	産業部門			業務部門			家庭部門	運輸部門					
	製造業	建設業	農林水産業	役場	事業者アンケート部分	役場・事業者アンケート部分以外		旅客自動車	貨物自動車				
2019年	2,020	446	13,391	6,120	2,458	6,848	11,754	6,657	12,545	62,239	-55,927	6,312	
2030年	1,500	307	9,153	2,208	2,025	1,346	4,084	3,662	7,806	32,092	-55,927	-23,835	
	-26%	-31%	-32%	-64%	-18%	-80%	-65%	-45%	-38%	-48%	0%	-138%	
2050年	861	67	5,968	1,369	1,503	1,264	3,135	1,899	2,782	18,848	-55,927	-37,079	
	-57%	-85%	-55%	-78%	-39%	-82%	-73%	-71%	-78%	-70%	0%	-160%	